

次世代アスリート日韓中チャレンジ事業の概要

1 事業目的

令和 11 年度に本県で開催される「第 37 回日・韓・中ジュニア交流競技会」で活躍が期待されるターゲットエイジの競技力向上に取り組み、将来、オリンピック等の世界大会や国民スポーツ大会で活躍できるスポーツ人材の育成を図る。

2 対象競技

開催 11 競技	陸上競技、サッカー(男子)、テニス、バレーボール、ソフトテニス、バスケットボール、ウエイトリフティング、ハンドボール、卓球、バドミントン、ラグビーフットボール(男子)
----------	---

3 事業内容

(1) 競技会専属アドバイザーコーチの配置等

- ・代表選手強化担当コーチ等、当該競技に関する豊富な知識と指導経験を有する者を認定
- ・開催年度まで、県内指導者及び選手に対し指導や助言を実施

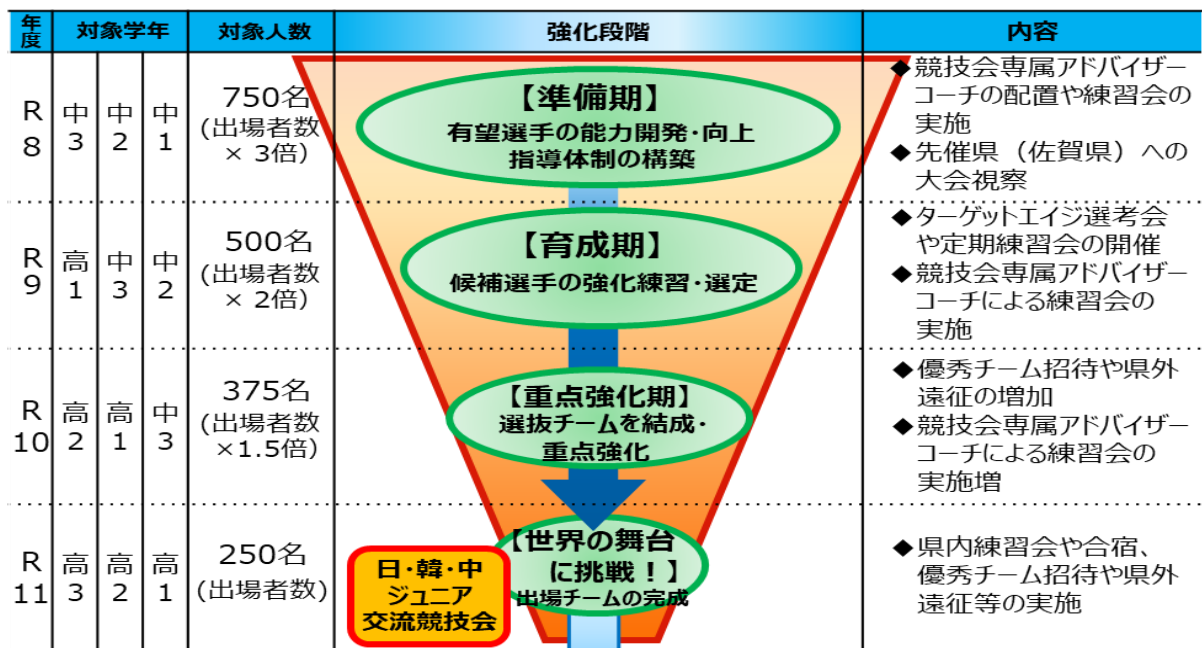
(2) ターゲットエイジに実施する強化事業への支援

- ・令和 8 年度の中学 1～3 年生をターゲットエイジとして、県内練習会や優秀チーム招待、県外遠征等を実施。開催年まで段階的・計画的に強化を図る。

(3) 競技会先催県視察

- ・令和 8 年度に佐賀県で同大会が開催されるため、競技レベルや競技運営等について、開催 11 競技団体の関係者や県関係者が視察し、開催県との情報交換等を行う。

4 事業イメージ



愛媛の高校生世代が国際舞台に挑戦し、更に高いレベルで活躍！

5 第37回日・韓・中ジュニア交流競技会概要

(1) 目的

東アジア諸国との青少年スポーツ交流を促進し、相互理解を深めるとともに、各国ジュニア層の競技力向上を図るため、競技会を開催する。

(2) 開催方法

日本・韓国・中国の3か国持ち回りの親善試合形式の競技会

- ※ 競技会以外にも開催県の高校生とのフレンドシップ交流会の開催や韓国・中国選手団を対象とした文化探訪を実施

(3) 主催

(公財)日本スポーツ協会、中央競技団体、開催県スポーツ協会及び開催県 等

(4) 期間

令和11年8月23日～29日（7日間）※予定

(5) 対象

- ・18歳以下の高校生世代
- ・日本・韓国・中国と開催選抜チームの計4チーム
- ・男女11競技 / 約1000名（250名×4チーム）

【参 考】

○近年及び今後の開催地

R 6 韓国(慶尚北道)	R 7 中国(内モンゴル)	R 8 日本(佐賀県)
R 9 韓国(未定)	R 10 中国(未定)	<u>R 11 日本(愛媛県)</u>

※四国初開催

○過去の日本での開催地

H 5 福島県	H 8 長崎県	H 11 広島県
H 14 熊本県	H 17 北海道	H 20 千葉県
H 23 愛知県	H 26 岩手県	H 29 茨城県
※R 2～4は、新型コロナウイルス感染拡大により中止		
R 5 和歌山県		